

…この悪趣味な恰好は
お前の趣味なのか…？
ドクターゲロツ！！
この借りは必ず返して
やるよ！覚えておきなッ！

どれだけ調整を重ねても、その
反抗的な態度は変わらん
18号…性能は申し分ないが、
その強い自我はお前の運用
にとつてはただの弊害に過ぎん。

お前はもはやラズリという
名の一人の女ではなく、
レッドリボン軍の所有物、
人造人間18号なのだ…。

私の命令には完全服従、
それが人造人間の絶対条件。
今からその条件を、その肉体に
しっかりと理解させてやるッ！

…なんたいコイツは…？
薄気味悪いね…おい、
何見てるのさデブ野郎！
いやらしい目で私を
見るんじゃないよっ！

紹介がまだだったな…
そいつは人造人間19号。
お前と違い、無から作り
上げた人造人間でな。

見てのとおりボディは完成し、
お前と違い私の命令にも
完全に従うが、今はまだ
様々なことを学習させている
段階なのだ。

19号…今日はお前に残虐さと
他者を蹂躞する愉しさを学習
させてやろう…教材はそうだな…
お前の目の前の拘束された女が
ちようど良さそうではないか…？

了解しました。
ありがとうございます。
ドクターゲロさま…
ふひ…ふひひっ…

なっ…！？私の、
私の身体は…っ
お前たちのオモチャ
なんかじゃないっ！

19号…18号に何をしても構わんぞ。どのように扱えば女が苦しむのか、色々と試してたっぷりと学習するがいい。

聞いたとおりだ18号…。私は以前から人間の男が女を犯すという行動に強く興味を惹かれていた…。今からそれをお前で試させてもらおうとしよう…ほほほ！

チクシヨウ！人形のクセにそんなモノを私に差し向けるな！やめろ！寄るなっ！私に…私に近づくんじゃないよっ！

…では私は研究に戻るとしよう…
…一つ言い忘れていた。18号には何をしても構わんが、ボディの破壊はしないように。それではたっぷり学習するのだぞ19号…ククク…

はい…了解しました。私はあなたの命令は絶対に遵守いたします。ドクターゲロさま…！

お前の肉体を見ている
だけで、海綿体に体液が
流れ込むのがわかる…
髑ってやる…髑ってやるぞ
この旧型め…ふひひ…

ふん…くだらないね…
ナンバーがたった一つ
違うだけで旧型扱いとか、
そんなことでしか自尊心を
満たせないのかい…？

ぴっちりとした皮を被った
お子様みたいなモノの
持ち主らしい、幼稚な
価値観しか持って
いないんだね…

それと私は自分が人造人間
だなんて認めちゃいないよ…
私は…私たちが姉弟は人間の
親から生まれた、一人の人間
なんだ！お前みたいな人形と
一緒にするんじゃないよ！

お前の方こそ何かにつけては私のことを人形人形と言う。そんなに自我があることが、優れたことなのか？ドクター！ゲロ様はお前のその自我こそが邪魔なのだとおっしゃっているというのに。

不要な自我を保持したままの未完成の旧型が…単純な戦闘力ではお前のほうが上かもしれないが、総合的には無から作られた新型の私のほうが優れた人造人間だということを理解させてやる！

うっ…うっ…うっ…
な…なんだよソレ…
き、気持ち悪い…っ！

ほほほ…どうした？顔色が悪いぞ？
性器に付着した老廃物に嫌悪を感じ
るその弱さ…それこそがまさに
感情を残した人間ベースの人造
人間の弱点なのだ…！

ドクターゲロ様からは、お前が
きちんと命令に従うように調整
するよう命じられている…
そうだな…まずはドクターゲロ様と
我々レッドリボン軍への忠誠の
証として、コレをすべて舐めとって
もらおうしよう…ほほほ！

じよっ…冗談じゃないよ！
そんな汚らしいもの口に
するなんてできるわけ…
うぶっ…！

ほほほ…コレを口にするのを
想像して吐き気を催したのか？
そんな脆弱な自我などやはり
不要だな…どうだ18号…
口にする前にニオイも十分に
堪能するといひ…！

おえええっ…！…？
クっ…クツサ…あ！
やつやめろっ！
そんな汚らしいモノを
私に近づけるな！

いい声を出すじゃないか…
だもつとだ…もつと苦悶の
声を上げさせてやる…
何をしている…？老廃物を
舐め取れと言ったはずだ…
早くしろこの無能な旧型め…

~~~~~  
うふっ！やめ…っ  
んふっ！うふっ！

何を抵抗している？  
まだわからないのか？  
これは今までお前が  
ドクターゲロ様に  
逆らってきたことに  
対する処罰なのだ…

老廃物を舐めとり、その  
悪臭と味をじつくりと  
噛みしめながら、これまでの  
ドクターゲロ様に対する  
無礼の数々を反省するがいい

チツ…どうしても口を  
開かないか…口でキレイに  
するのがそれほどまでに嫌なら  
お前のその顔で拭ってやる…

いっ…嫌っつ！？  
いやあああああ！！  
そ、そんな汚らしい  
モノを私の顔に  
つけるな！！

どうだ…？舐めとる気に  
なつたか100号…？  
ほほほ…顔に老廃物を  
塗り付けられるのは  
よほど堪えるこみえる…

ク…クサいっつ！  
ひっ…？いやあ！  
肌につ…気持ち悪い！  
クサいっ…やめろ！  
やめろお！やめろおツ！  
いやあああつ！！

お前の嫌悪に歪む表情は  
堪らんなあ…ほほほ…  
もつとだ…もつとそらうらうら  
表情を見せてみる…

調子に乗るんじゃないよ！  
誰がお前の命令なんか  
聞くもんか！！

私の前に跪け。跪いて  
両手を頭の後ろで組み、  
舌だけを使ってコレをすべて  
舐め取れ18号…。  
これまでドクターゲロ様に  
逆らってきたお前のその  
自我を踏みにじってやる…

ほう…？…そういえば  
ドクターゲロ様からはお前の  
肉体は破壊しないよう  
命じられているが、停止中の  
17号についてはそういつた  
ご指示は頂いていなかったな？

…ッ！…このっ…  
ゲス野郎が…ッ！

…うっ…ぷ…ク…  
クツサ…クツサ…い…  
こん…なの…む…  
無理に…決まって…  
るだろ…う…う…

どうした…やはり無理か？  
この亀頭にビツシリと付着した  
老廃物を舐めとることができれば、  
お前のレッドリボン軍への忠誠心を  
認めてやろうと思っただがなあ…？

使えんな…お前の忠誠心はそんなものか？  
そんな程度の忠誠心しか持ち合わせて  
いない旧型の、そのさらに旧型ならば  
修復不能になるまで徹底的に破壊し、  
廃棄処分にするしかないなあ18号…？

…まっ…待て…！…待ってくれ！  
17号にだけは…アイツにだけは  
手を…手を出さないでくれ…っ！



なら早く舐め取れ…使えん  
旧型に私は容赦はしない…  
お前が手を抜いていると  
判断したら、17号は即座に  
破壊する…早くしろ…!

ッ…う…う…う…クサあ…  
おえっ…う…ぶっ…う…  
ぐ…う…あ…あ…あ…!

うぶっ…う…ぐっ…  
お…ええっ…!  
むぶ…えぶ…  
…っ…う…おう…  
ぶっ…!!

何をモタついている…う…そんなに  
老廃物を舐めとるのが苦しいのか?  
万が一嘔吐などしてドクターゲロ様の  
神聖なる研究所を汚損したりすれば、  
17号がどうなるかはいくらお前が無能な  
旧型とはいえ想像できるだろう?

RR

おえっ…うふうっ!?!?  
チクシヨウ…チクシヨウ…  
バカの二つ覚えみたいに  
口を開けば17号17号って…  
アイツは…私にとって大切な  
肉親なんだ…ぐぶえ…っ…

お前は17号の双子の姉だったな?  
人造人間になっても、弟を想う  
気持ちは残っているのか…?  
やはり人間ベースの人造人間は  
脆弱…脆弱だな…ほほほっ!

ならば私はお前のその脆弱さに  
徹底的につけ込んでやる…!ひひ…  
ほらどうした? 付着した老廃物が  
まるで減っていないぞノロマめ…  
仕方がないな18号? では17号を…

ぐぶっ…ぶっ…ぶ…う…  
うっ…ぐっ…あぁあ…  
うああああああつっ!!

おふえっ！げえっ！……えう  
おう……おふっ……むぶ……  
えぶっ！げうっ！おぶうっ……！

私の老廃物はどんな味だ？  
どんな臭いだ？マズいか？クサイか？  
ほほ……いくら肉親を守るためとはいえ、  
よくそんなモノを口にできるな18号？  
ほほほ……ほほほほほ……！

ほほほ……ずいぶんと必死だなあ  
18号？だがまだまだ……特に  
カリ首の部分などまったく  
減っていないではないか？

おえっ……チクシヨウっ……！  
チク……シヨウ……っ……！  
おうええええええっ……！  
うげえええええええっ……！

